

平成 30 年 12 月 3 日
予 報 部

平成 30 年台風第 24 号の確定値を掲載

本年 9 月から 10 月にかけて日本に接近・上陸した台風第 24 号の上陸時の大きさと強さを、速報解析では「非常に強い台風」としていましたが、事後解析の結果、「大型で強い台風」となりました。本事後解析の結果を、本日、気象庁ホームページの「過去の台風資料」に掲載しました。

本年 9 月から 10 月にかけて日本に接近・上陸した台風第 24 号の事後解析による確定値（経路図と位置表）を、本日、気象庁ホームページの「過去の台風資料」（ ）に掲載しました。

台風第 24 号の上陸時の大きさは速報解析では「大型」に達していませんでしたが、事後解析の結果、「大型」に、強さは、速報解析では「非常に強い」としていましたが、事後解析の結果、「強い」となりました。

（参考）非常に強い勢力で上陸した台風は 1991 年以降、1991 年第 19 号、1993 年第 13 号、2018 年第 21 号の 3 個です。

（参考）台風の強さと大きさについては以下の URL をご参照下さい。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/typhoon/1-3.html>

気象庁ホームページ「過去の台風資料」の URL

<https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/typhoon/index.html>

< 「速報解析による速報値」と「事後解析による確定値」について >

気象庁が公表する台風の中心位置や中心気圧などには、「速報解析による速報値」と「事後解析による確定値」があります。

「速報解析による速報値」は、限られた時間内に収集できたデータを用いて、速報的に解析したものです。その結果は、速報値として、リアルタイムに発表する台風情報に用いています。

「事後解析による確定値」は、台風消滅後、速報解析時点及びそれ以降に収集した資料も用いて、台風の発生から消滅までの時間的な推移を考慮しながら台風の位置や強度を再度詳細に解析し、最終的に定めたものです。その結果は確定値として、今後の台風予報の精度向上のための基礎資料や、台風の統計資料に用いています。

問合せ先：予報部 予報課 アジア太平洋気象防災センター 担当 石原
電話 03-3212-8341（内線 3137）